



芳工連だより

‘24/02
第 236 号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 渡辺 信夫

■ **新春賀詞交歓会**を盛大に開催

賀詞交歓会を1月19日(金)ホテル東日本宇都宮において開催しました。会員企業38社から68名のご参加をいただき、4年ぶりにアルコールも入って賑やかな賀詞交歓会となりました。

また、来賓として芳賀町から菱沼正裕副町長、大根田淳一商工観光課長、芳賀町議会から小林信二議長、中村由美子産業建設常任委員長、芳賀町商工会から田川治道会長のご臨席をいただきました。

司会進行は、岡田等総務企画部会長が務めました。

ご挨拶された皆様からは「1月1日の能登半島地震で被災された方々へのお悔やみ、お見舞いを申し上げます」と哀悼の意が表されていました。

富永英夫副会長は「多くのご来賓と会員企業関係者多数のご参加をいただき、誠にありがとうございます。主催者として大変嬉しく思います。本日はアルコールも用意しておりますので、存分に情報交換しながら楽しんでいってください」と開会の挨拶を述べました。



< 富永英夫副会長：開会挨拶 >

■ **浦野会長が主催者あいさつ**

主催者を代表して浦野誠会長は「新年明けましておめでとうございます。日頃から芳工連の運営に対しまして格別なご協力、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。本日の賀詞交換会も多くの皆様が集い開催できたことを嬉しく思いますし、交流を深める場としていきたいと思っております。また、ご来賓の皆様方にはお忙しい中、ご臨席をいただき誠にありがとうございます。

日本の株価はバブル崩壊後の高値を更新するなど勢いづいていますが、一方では未だに円安と物価高騰で日本経済そのものは混沌としております。他の国間のごたごた、中国の成長率の鈍化、甚大な自然災害など人々の暮らしに大きな影響を及ぼす事態も懸念されます。如何に「連携・共存」するかBCPを構えておくかが重要と強く感じています。

芳工連の活動においては、内部の活動に留まらず、県知事、県土整備部長、産業労働観光部長との意見交換会や町長との懇談会など行政との関わりを持ち、身近な出来事・要望などを直接、情報交換、陳情させていただきました。即、結果には結び付きませんが、重要なのは接点を持ち続けること、訴求し続けることと考えています。工業団地に関係する方々に実りある施策に向けた協議を引き続き図っていきたいと考えています。



< 浦野誠会長：挨拶 >

今後、県・町・芳工連において一方通行ではなく、双方に有意義となるよう活動し、企業全ての関係者が「働き易く」、近隣住人の方々を含めて「安全・安心に生活し易い」環境づくりに繋げてまいります。情報の共有・共働・共助・共創・共楽（たのしく・らくに）と『共』を合言葉に活動していきましょう。引き続き、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。町及び全企業の発展、ご参会の皆様のご健勝を祈念し結びとさせていただきます」などと挨拶しました。

■ 来賓あいさつ

菱沼正裕副町長は「本日、大関一雄町長は県知事との懇談会のため出席できませんが、皆様によろしくとのこと。昨年の8月26日にLRTが開業し、町民、町内への通勤者、町外からの来町者など多くの皆様にご利用いただいています。様々なメディアに取り上げられ、知名度アップに繋がっています。今年の町長の三つの抱負を紹介します。一つ目はLRTの利活用をさらに進めるため、路線バスやデマンド交通の見直しや新たな公共交通の導入を検討します。二つ目は人口対策として、町中心部の市街地整備とともにトランジットセンター周辺の下原地区に住宅地整備を進めます。三つ目は持続可能なまちづくりです。

4月から第7次町振興計画がスタートし、カーボンニュートラルの推進、雇用の創出、新たな産業団地の創出などを検討してまいります。今後とも芳工連の皆様にとって活動しやすく、働きやすい町、産業の活発な町を目指して町政運営をしてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願いします。芳工連の益々の発展、皆様のご健勝をご祈念申し上げます」などと挨拶しました。

小林信二議長は「今年は甲きのえの辰年で万物の成長、活力が旺盛になり、これまでの努力が実って夢が叶いやすい年だそうですので、頑張ってください。芳工連、町、商工会にとって災害のない、穏やかな1年となりますようご祈念申し上げます」などと挨拶しました。

■ 祝 宴

芳賀町商工会田川治道会長の「龍のように元気に1年を過ごしましょう！ 乾杯!!」の発声で祝宴が始まりました。

4年ぶりにアルコールも入り、再開を喜ぶ方、初参加の方も名刺交換やご挨拶で会場は賑やかとなり、和やかなうちに歓談することができ、大変有意義な賀詞交歓会となりました。



<菱沼正裕副町長：祝辞>



<小林信二議長：祝辞>



<田川治道商工会長：乾杯発声>



<司会：岡田等総務企画部会長>

宴たけなわではありましたが、中締めを務めた多部田学副会長はユーモアたっぷりに「日本経済はバブル期以降の株価上昇で、経済評論家は夏場には4万円になるのではとっています。昨年はずき年地面を跳ねる飛躍の年、今年は辰年、天に昇る勢いで上昇気流に乗り、各企業の益々の発展を祈念して右肩上がりの三本締めで締めたいと思います」と挨拶し、最後に右肩を上げる三本締めでお開きとなりました。

<多部田学副会長：右肩上がりの中締め>



■ 栃木県県土整備部長に要望書提出

浦野会長、富永・多部田・種子副会長、事務局渡辺が、1月24日(水)坂井康一県土整備部長に交通渋滞対策に係る道路整備の促進について要望書を提出しました。

浦野会長は「日頃から県民の安全・安心を支え、持続可能な県土発展にご尽力されるとともに、私ども工業団地を取り巻く総合的な道路整備を推進していただき、心から感謝申し上げます。しかしながら、喫緊の課題は継続的な渋滞の解消で、宇都宮テクノ街道板戸大橋4車線化は令和9年度の供用開始を目指す期限も明確にされていますが、その他の状況についても説明をさせていただきます。結果を直ぐに求めるよりも、継続的な話し合いを通してお互いが理解を深めることが重要だと思っていますので、要望を聞いていただければ幸いです」と挨拶し、続いて種子副会長が内容の説明をしました。



坂井県土整備部長は「鬼怒川左岸（東側）の工業団地は、県内工業出荷額の約35%を占め、雇用や地域・産業振興に力強い協力をいただいています。非常に重要な地域で、出荷額も伸びており県経済発展の原動力になっています。感謝申し上げますとともに、より活動しやすい環境を作っていかねばならないと思っています。また、県、企業の発展と一緒に取り組んでいくうえで、こうした意見交換の場は、貴重と思っています」と挨拶されました。

提出した3項目の要望と県からの回答は、次のとおりです。

1 宇都宮高根沢バイパスの整備について

国道408号宇都宮高根沢バイパスの整備につきましては、鷺ノ谷交差点から国道4号までの早期開通、野高谷町交差点など主要な交差点の立体交差化及び4車線化について、引き続きよろしくお願いいたします。

【県の回答概要】

全長6.6kmで平成21年度に着手。令和元年5月に野高谷町交差点から鷺ノ谷交差点までの5.3kmを2車線で暫定開通。令和4年5月に宇都宮テクノ街道との交差点の北から鷺ノ谷交差点までの2.7kmを4車線に。野高谷町交差点から宇都宮テクノ街道との交差点の北までの残り2.6kmは、野高谷町交差点及び宇都宮テクノ街道との交差点の立体化に合わせて4車線化を進めています。野高谷町交差点立体化と一部4車線化は令和6年度の完成を予定しており、宇都宮

テクノ街道との交差点では下部工工事を実施中です。鷺ノ谷交差点から国道4号までの用地買収は済んでおり、工事難所の JR の立体交差の工事は鉄道工事となることから、JR に工事をお願いして今年度から下部工工事に着手しますので、計画的に事業を進めて早期供用に努めます。

2 主要地方道宇都宮・向田線（宇都宮テクノ街道）の4車線化について

宇都宮テクノ街道は、板戸大橋部分を除き4車線化され、誠にありがとうございます。今後、縦軸の国道408号バイパスの優先整備とともに、交差する宇都宮テクノ街道板戸大橋の早期4車線化に向けて、ご尽力いただけますようお願いいたします。

【県の回答概要】

宇都宮テクノ街道の整備は全長 6.2 kmで平成 14 年度に着手。令和3年度までに板戸大橋を除いて4車線に。板戸大橋については平成 20 年3月に2車線で開通し、今年度から橋の4車線化に向けて事業に着手しており、現在設計中。令和6年度の秋（渇水期）に、下部工工事に着手します。920mの橋梁は河川を跨ぐ県管理道路では一番大きな橋になるため、鬼怒川の東側から約半分の橋脚、橋台の工事に着手し、計画的な事業推進に努めます。



3 工業団地内交差点の信号待ちによる渋滞解消について

芳賀町の工業団地内の信号機は、交通管制センターにおいて管理されておりますので、状況に応じて対応していただいていると思いますが、特に朝の出勤時にはホンダ開発棟前の交差点を先頭に南側（三菱UFJ信託銀行角の交差点）に渋滞が生じています。

LRTの開通に伴い信号機の待ち時間が増えたこともあり、芳賀町工業団地管理センター前交差点を南から北進する際の信号機が青に変わる少し前にホンダ開発棟前交差点の信号機を青に変えていただき、渋滞解消を図っていただければ幸いです。

【県の回答概要】

信号機については警察の所管で、芳賀町の工業団地は管制センターの管制エリアのため、県警本部に内容を伝えておきます。

■ 女性活躍推進会議を開催

女性活躍の推進に向けた取組みが、より一層進めていくことが求められていることから、芳工連としましても主要施策の一つに「女性活躍ネットワークの構築」を掲げて、女性社員一人ひとりがそれぞれのステージで活躍できる職場づくりについて検討を開始しました。直ぐに結果がでる訳ではありませんが、活動をとおして企業間の壁を越え



て交流することによって、女性が活躍できる環境について考えていきます。

1月24日(水)11名中6名の推進メンバーの出席のもと、第1回の会議(情報交換)を開催し、「女性の視点で考える働きやすい環境づくり」について、それぞれ意見を出していただきました。

開催にあたり岡田総務企画部会長から「部会の課題部門の取組みとして、またダイバーシティの推進において女性活躍は社会の流れですから、働きやすい環境づくりに向けた話し合いをしてください」と挨拶がありました。

出された意見では、①産休・育休・介護休を取得する際の気兼ね→職場の理解が大切、②職場への復帰プログラムが必要、③仕事をシェア(例:Aが主の仕事をBが従で、Bが主の仕事をCが従で、Cが主の仕事をAが従で担当し、マニュアル化)して休業等にも対応しているなどがありました。また、④言いやすい環境、⑤ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の理解が必要との意見もありました。男だから、女だからという今までの慣習を変えていき、どういう働き方が良いかを、次回(3/19)は話し合います。



＜女性活躍推進メンバー＞

三菱UFJ信託銀行 栃木芳賀センター	佐藤 幸枝	東鉄運輸(株) 宇都宮営業所	澤井 佐登美
(株)ホンダアクセス 栃木事業所	本澤 芳恵	関東大協(株)	布施 久美子
サンクレール(株)	宮田 めぐみ	(有)田野辺運送店芳賀工業団地本社営業所	羽石 明美
日泉化学(株) テクノセンター栃木	上田 あゆみ	(株)オートテックジャパン	阿部 麻海子
(株)エムズコーポレーション	藤倉 若葉	協永堂印刷(株) 栃木事業所	大久保 美華
		//	松本 知子

■ 普通救命講習会を開催

安全衛生部会が主催する第4回普通救命講習会を1月23日(火)23名の皆様に参加いただき管理センターで開催しました。

最初にDVD視聴により一次救命処置(心肺蘇生とAEDの使用)などの流れを学んだ後、6グループに分かれ、グループごとに一人ひとりが訓練用マネキンを使って、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用及び一連の流れを実践しながらに訓練しました。また、気道異物の除去、傷病者の管理法や止血法についても学んでいただきました。

講師を務める真岡消防署芳賀分署の皆様には、お忙しい中ご指導いただき感謝申し上げます。来年度もよろしくお願いたします。



■ 芳賀町新春の集いに正副会長出席

芳賀町新春の集いが1月10日(水)芳賀温泉ロマンの湯で開催され、町議会議員、自治会長ほか各種団体の代表者など約80名が出席しました。

芳工連から浦野会長、富永・多部田・種子副会長と事務局長渡辺が出席しました。

大関一雄町長の主催者挨拶、小林信二町議会議員はじめ地元選出の衆参議員4名・県議会議員2名、田川治道町商工会長の祝辞の後、浦野芳工連会長の乾杯の発声で祝宴に入りました。4年ぶりにアルコールも入った集いとなり、名刺交換やご挨拶で会場は賑やかとなりました。



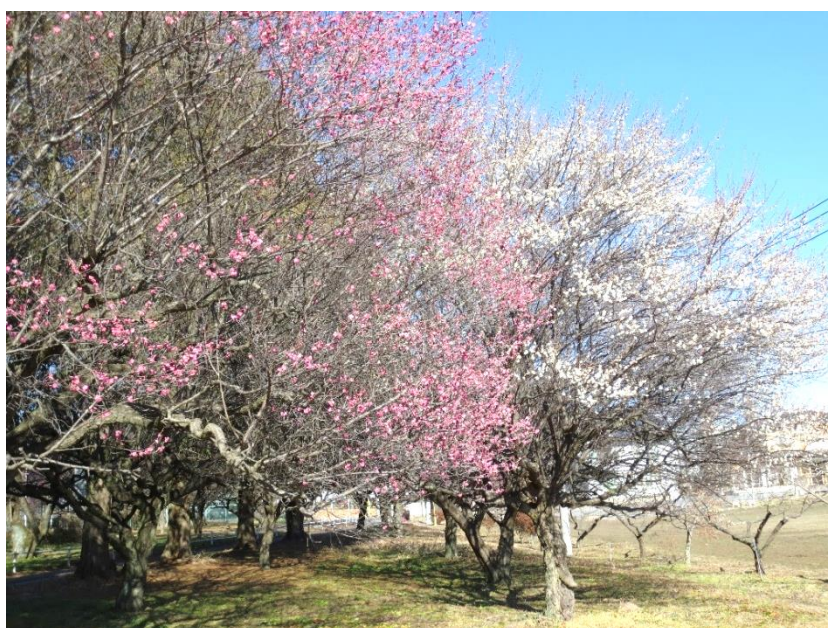
< 浦野会長：乾杯発声 >

■ お知らせ

◆1月1日(月)発生の能登半島地震による被災者に対し、義援金10万円を芳工連として町社会福祉協議会をとおして日本赤十字社に送金しました。

◆3月1日(金)管理センター事務所を臨時休館します。芳工連会員企業他事業所訪問のため事務所を臨時休館しますのでよろしくお願いいたします。

なお、事前に予約をいただければ小会議室を除く会議室、体育館は使用できます。



< 工業団地3号緑地
(管理センター南東)
に咲く紅白梅 >

【1月の実績】

- 5日 仕事始め
- 10日 芳賀町新春の集い
- 15日 団管連幹事会
- 19日 芳工連賀詞交歓会
- 23日 普通救命講習会
- 24日 県土整備部長訪問
- 24日 女性活躍推進会議
- 24日 資源ごみ回収
- 26日 町商工会理事会

《 芳工連日誌 》

【2月の予定】

- 8日 知事との意見交換会(団管連主催)
- 15日 ボウリング大会
- 28日 資源ごみ回収
(3/1(金)~2(土))
芳工連会員企業他事業所訪問)